



東大和ニツ池だより

第5号
(2025年3月)

発行 東大和市
市民環境部環境対策課
編集 認定NPO法人 生態工房
●この印刷物には再生紙を使用しています



池も野も山も ニツ池公園の自然再生

狭山丘陵の谷戸の自然再生に取り組んでいるニツ池公園では、水辺はもちろんのこと、草地や雑木林の整備も進めています。2024年度に行った作業の様子を報告します。

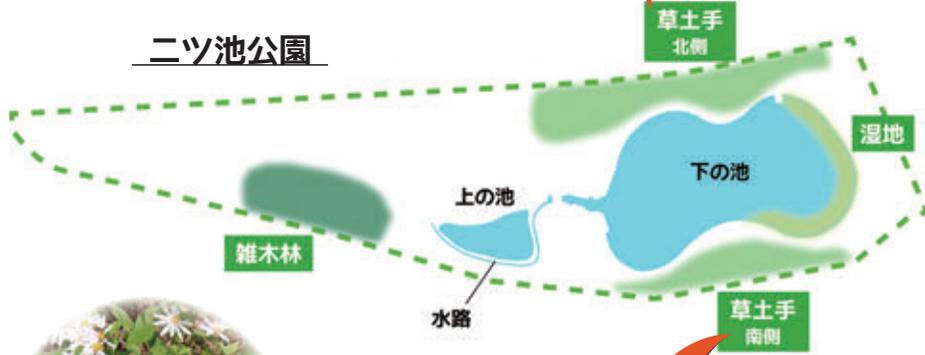


草土手の整備

狭山丘陵の田んぼやため池の周りには、よく手入れされた草の土手があります。ススキの合間にワレモコウなどの花が咲いているような素朴な土手をイメージして、下の池付近の斜面で整備を進めています。

整備開始前の下の池・北側の土手にはアズマネザサが密生し、フジのつるが縦横に伸びていました。2024年の春と秋に草刈りを行い、ササが少なくなつてからはススキの生育に勢いが出てきました。ネコハギ、スズメノヤリなどの草党性植物も確認されています。

下の池・南側の土手は、表土の流出が目立って



根茎の移植直後の南土手。茎葉ごと移植しました。

雑木林の再生

いたことから、前年度に土を盛り足して補修しました。2024年度は北土手からススキの根茎を移植しています。

園内西部にある緩斜面には、かつてクヌギなどの高木が生育していましたが、ナラ枯れなどの影響によりほぼ消失し、裸地になっていました。この場所でクヌギ・コナラなどの雑木林の再生を目指した作業を行いました。

雑木林再生にあたっては狭山丘陵産の苗や種子を





コナラの苗



苗の植え付けと表土撒き出し



クヌギなどの稚樹の採取



ガマズミの苗

用いています。市内の丘陵地でクヌギ、ガマズミなどの実生と表土を採取したほか、二ツ池公園にあった実生も利用しました。雨が少ない時期に枯れてしまった苗もありますが、多くの苗は根付いたようです。2025年には草刈りなどの管理を継続して、若い林へと育成していく予定です。



地表の耕起作業



ミズニラ
(東京都レッドリスト 絶滅危惧I B類)

湿地の整備

下の池では2023年度のかいほり期間中に、岸沿いに水深の浅い段(浅場)をつくり、水中と陸地をなだらかにつなぐ湿地を整備しました。

上の池の掘削土などを湿地に撒き出したところ、2024年には絶滅危惧種のミズニラなど17種の湿生植物等が確認されました(外来種を除く)。

湿地をよい状態に保つためには、適度な管理作業をする必要があります。植物の堆積などによる陸化の防止と、植生の無い泥地を好む植物の生育環境を維持する目的で、冬期に枯れ草の除去と地表の耕起を行いました。



ヒメクグ

浅場で確認された植物

(湿地・やや湿った草地に生育する種)

- | | |
|------------|--------|
| ミズニラ | ヨシ |
| セキショウ | ツボスミレ |
| ガマ類 | コケオトギリ |
| コウガイゼキショウ類 | オオイヌタデ |
| ゴウソ | ミゾソバ |
| ヤブスゲ | アゼナ |
| ヒメクグ | ミゾカクシ |
| タマガヤツリ | セリ |
| イヌビエ | |

看板ができました



二ツ池公園に新しい看板ができました！
1つは大型の掲示板で、園内の自然再生活動や、自然観察の見どころなどを紹介します。
もう1つは園内に生息している季節の動植物を紹介する看板で、池の浅場に面しています。
● 春から本格的に運用する予定です。

いきものノート

野の彩時記

PAGE3.
ミヤマアカネ



オス



メス

水路や小川のあるところで夏から秋に見られる赤トンボ。翅に褐色の帯があります。湧水の流れがある二ツ池公園らしいトンボです。